

協議会名称		WEBサイト ※QRコードも可
阿蘇ジオパーク推進協議会		http://aso-geopark.jp
担当者		
所属	事務局	
氏名	永田紘樹	SNS（Facebook、Twitter、Instagramなど） ※QRコードも可
メール	info@aso-geopark.jp	https://www.facebook.com/AsoGeopark
電話番号	090-7384-2513	

※令和7年の活動状況（予定も含む。）について、3枚程度で、自由に記述してください。現場の様子が伝わる写真等の活用を歓迎します。

※協議会の概要紹介については最小限に留め、あくまでも活動状況等にフォーカスを絞った報告となるよう心がけてください。

阿蘇ジオパーク推進協議会

阿蘇地域には世界最大級のカルデラ地形、人と自然の関わりが生み出した風景があり「世界農業遺産」「ユネスコ世界ジオパーク」にも認定されている。これまでも自然観光資源の保護と活用は行われてきたが、平成28年の熊本地震以降、地域の観光業や農畜産業の復活を視野に入れたエコツーリズムのあり方が求められるようになった。阿蘇地域の自然環境を保全・活用し、地域固有の魅力を伝えることで、地震からの復興と活力ある持続的な地域づくりを実現していく。

令和6年度のツアーの概況

阿蘇ジオパークで取り組んでいるツアーは、大地の成り立ちと、生物環境、歴史、私たちの暮らしがどのように関わり合っているのか、についてトレッキングなどを通して楽しみながら学んでいくツアー。

総参加者数：758人（R6年4月-R7年3月）

【環境教育の場としての活用】

1. ジュニアジオガイド

2022年に国立阿蘇青少年交流の家とのパートナーシップ協定を締結し活動を継続。特に従来実施していたジュニアジオガイドプログラムは若い世代主導のプログラムとして確立しつつある。



※昨年の様子

実施予定日：2025年10月-11月(全3回予定)

参加者：小学4年生-中学3年生

内 容：阿蘇くじゅう国立公園管理事務所と連携し、草原や阿蘇の成り立ち、水循環について学び、大観峰でジオガイドとして案内を行う。

2. ジオパークユース育成

ユネスコ世界ジオパークフォーラムの設立や国内でもユースの社会参画が求められる中、阿蘇ジオパークとしてもユース教育に力を入れはじめた。



※今年度実施の様子

実施日：2025年8月30日-31日

参加者：大学生 4 名

内 容：ユネスコの取り組みなどを踏まえ、国際的な視点から、阿蘇の成り立ちと水の仕組みを体験から自分の気づきを得るプログラム。

【観光振興】

1. フィンランドとの交流

MOUを締結したフィンランド ロクア ユネスコ世界ジオパークのマネージャーを阿蘇に招き、相互連携からどのような観光的な価値を見出すことができるかについて意見交換を行った。フィンランドも管理された森があり、阿蘇の小国杉や南郷檜の森と比較することで、より欧米向けの価値の提供可能性が高まった。



黒川温泉手形づくり体験



阿蘇山上ビジターセンターにおける地元ガイドによる野焼きの解説の様子



小国杉の森や工房巡りの様子